



取扱説明書

EIZO Video Wall Plugin for Milestone XProtect

Version 1.1

目次

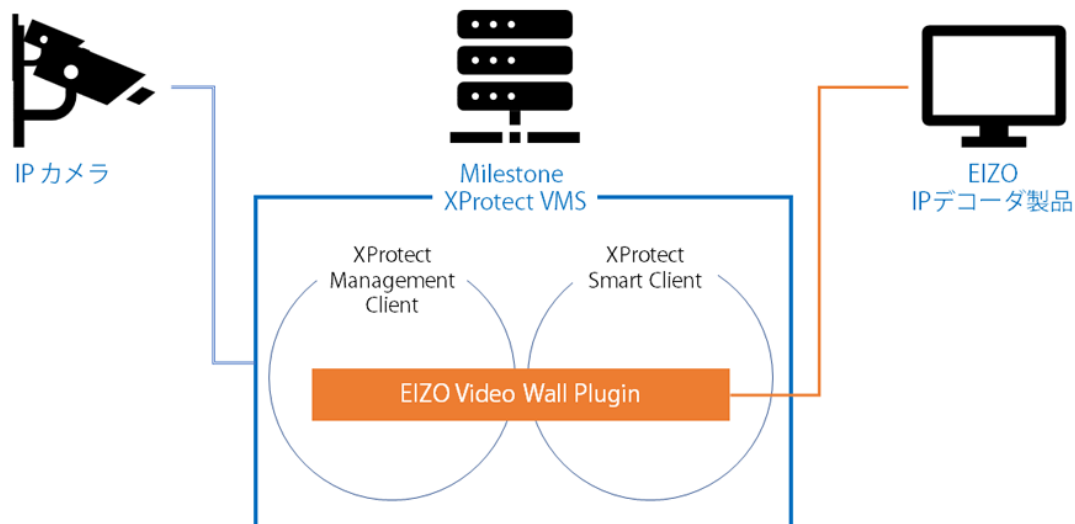
概要.....	4
システムの概要.....	4
基本情報.....	4
プラグインの動作条件.....	4
EIZO IP デコーダ製品 (以降 IP モニター).....	4
XProtect System.....	4
プラグインのインストール.....	5
インストールの前提条件.....	5
プラグインをインストールする場所.....	5
旧バージョン (v1.0.0.0~v1.0.1.0) との互換性.....	5
インストールするには.....	6
アンインストールするには.....	9
XProtect Management Client.....	10
Management Client の概要.....	10
XProtect Smart Client.....	10
Smart Client の概要.....	10
ストリーミング.....	10
XProtect Management Client.....	11
概要.....	11
前提条件.....	12
設定手順.....	13
1) EIZO ビデオウォールの作成.....	13
2) モニターの登録.....	13
3) プリセットの追加.....	15
4) プリセットの編集.....	15
5) プリセットの有効化.....	16
備考.....	17
設定を XProtect VMS データベースに保存.....	17
保存していない設定変更を元に戻す.....	17
端末の接続ステータスのチェック.....	17
プラグインのバージョンをチェック.....	18
XProtect Smart Client.....	19
概要.....	19

基本的な機能.....	20
表示画面に模擬テンプレートを登録.....	20
カメラの追加.....	20
レイアウトの変更.....	21
プリセットの有効化.....	21
プリセットを初期設定に復元.....	21
現在の IP モニター端末のレイアウトを取得.....	22
ビューエンティティのレイアウトを有効化.....	22
表示から模擬テンプレートを削除.....	22
EIZO ビデオウォールの切り替え.....	22
高度な機能.....	23
端末の状態監視の有効化.....	23
端末のステータスをチェック.....	24
スクリーンショットをとる.....	24
マップ.....	24
イベント機能.....	24
アラームマネジメント.....	24
備考.....	26
プラグインのバージョンをチェック.....	26
トラブルシューティングガイド.....	27
前提条件.....	27
ストリーミングの問題.....	27
カメラストリームを表示できない.....	27
エラーE01-00 の原因.....	27
エラーE02-02 の原因.....	27
エラーE02-03 の原因.....	28
エラーE02-04 の原因.....	28
トラブルシューティングの手順.....	29
Open Network Bridge のトラブルシューティング.....	29
ユーザー設定のトラブルシューティング.....	31
カメラストリーミング設定のトラブルシューティング.....	33
オープンソースソフトウェアライセンス.....	35
商標.....	35

概要

システムの概要

基本情報



EIZO Video Wall Plugin は、XProtect VMS 内の次の 2 つのソフトウェアに追加されます。

- XProtect Management Client
- XProtect Smart Client

プラグインの動作条件

EIZO IP デコーダ製品 (以降 IP モニター)

- バージョン：5.5100 以上
- エンタープライズライセンスが有効化されていること

XProtect System

- XProtect のエディション：Corporate、Expert、Professional+、Express+
- XProtect のバージョン：2022 R3
- Milestone Open Network Bridge のバージョン：2022 R3
- The EIZO Video Wall Plugin のバージョン：1.1.0.0

プラグインのインストール

インストーラの入手方法については、EIZO の Web サイトをご覧ください。

インストールの前提条件

正常にインストールするには、インストーラを実行する前に次の手順を実行する必要があります。

- すべての Management Client と Smart Clients を閉じる。
- Event Server ウィンドウのサービスを停止する。

プラグインをインストールする場所

- C:\Program Files\VideoOS\MIPPlugins
- C:\Program Files\Milestone\MIPPlugins

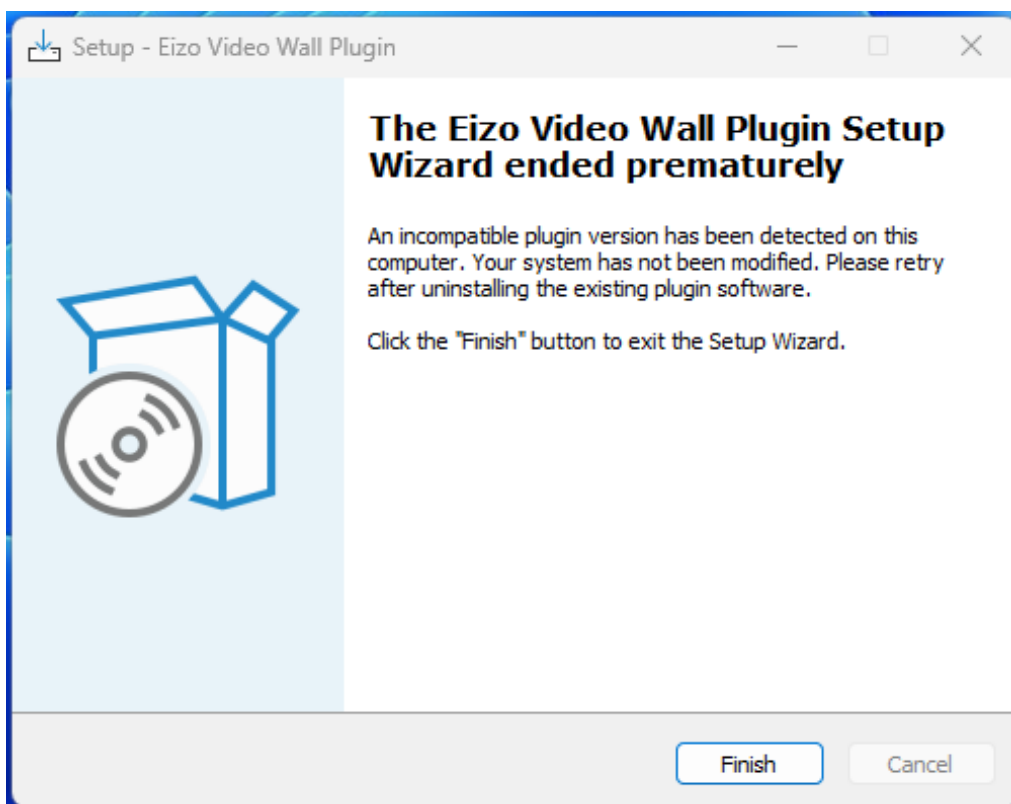
注：

必ず上記のいずれかのインストール場所を選択し、そのパスの終わりに **EIZOVideoWallPlugin** という名前の新しいフォルダが表示されていることを確認してください。

例： C:\Program Files\VideoOS\MIPPlugins\EIZOVideoWallPlugin

旧バージョン (v1.0.0.0~v1.0.1.0) との互換性

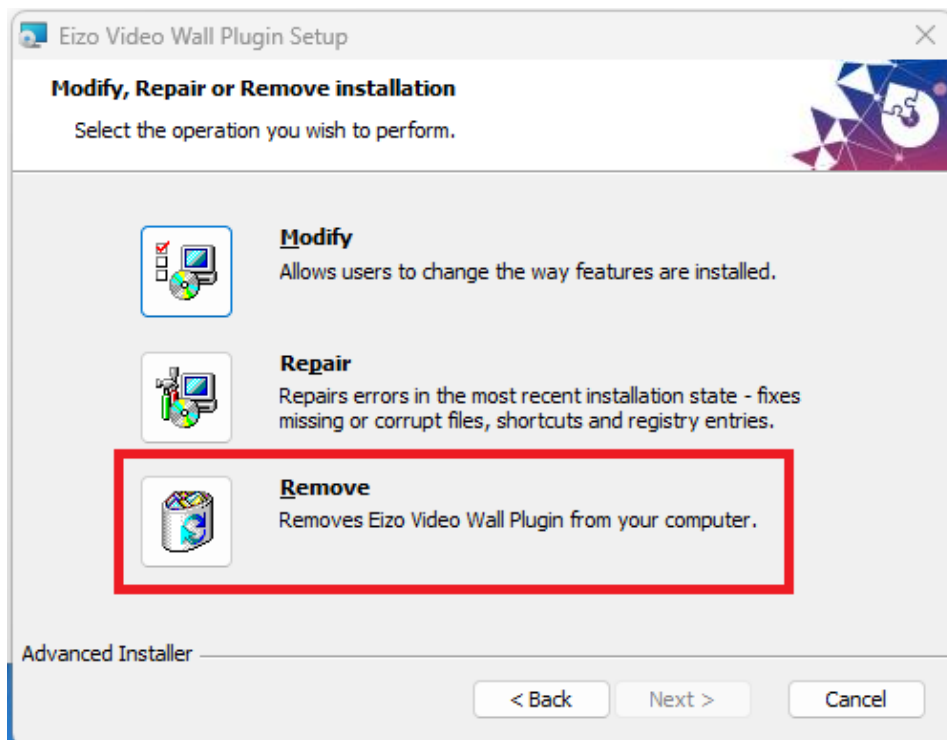
v1.1.0.0 からは、新しいインストーラが実装されており、旧バージョンのプラグインとは互換性がありません。旧バージョンのプラグインが存在するときに新しいインストーラを実行しようとする、互換性エラーが発生します。



旧バージョンのプラグインからアップグレードするには、まずプラグインとそのコンテンツを完全にアンインストールします。

旧バージョンのプラグインは、元のインストーラを使用して削除する必要があります。

- 旧バージョンのインストーラソフトウェアを実行し、[Remove (削除)]オプションを選択します。

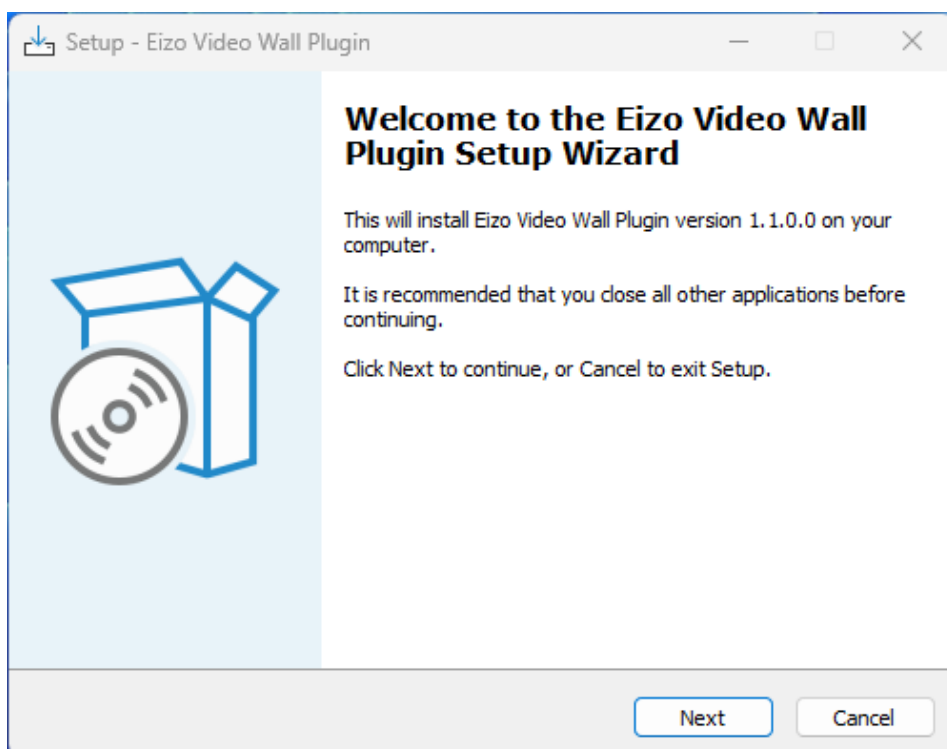


- 次に、指示に従って新しい v1.1.0.0 インストーラを実行します。

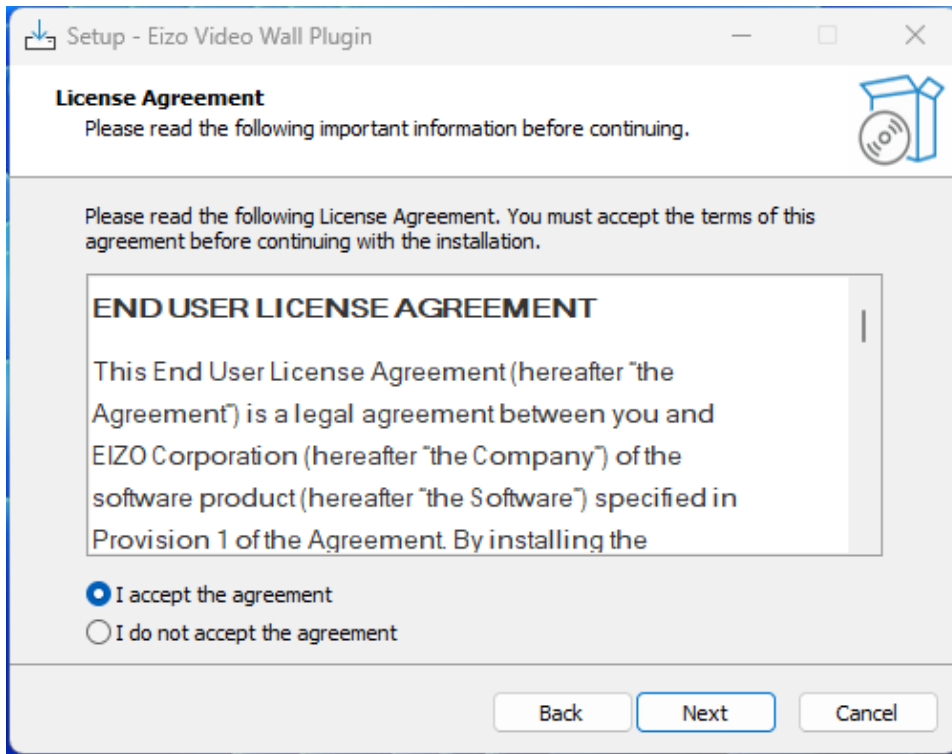
旧バージョンのインストーラを紛失または削除した場合は、Windows の[アプリと機能]またはコントロールパネルからプラグインをアンインストールできます。

インストールするには

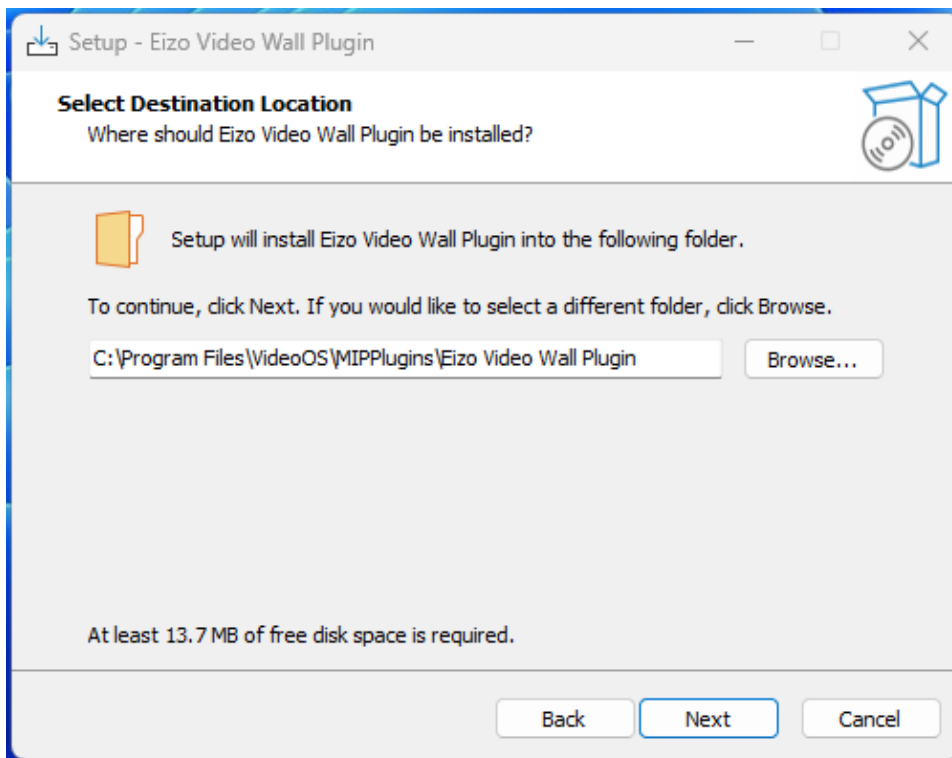
- 必要な環境でインストーラを実行します。



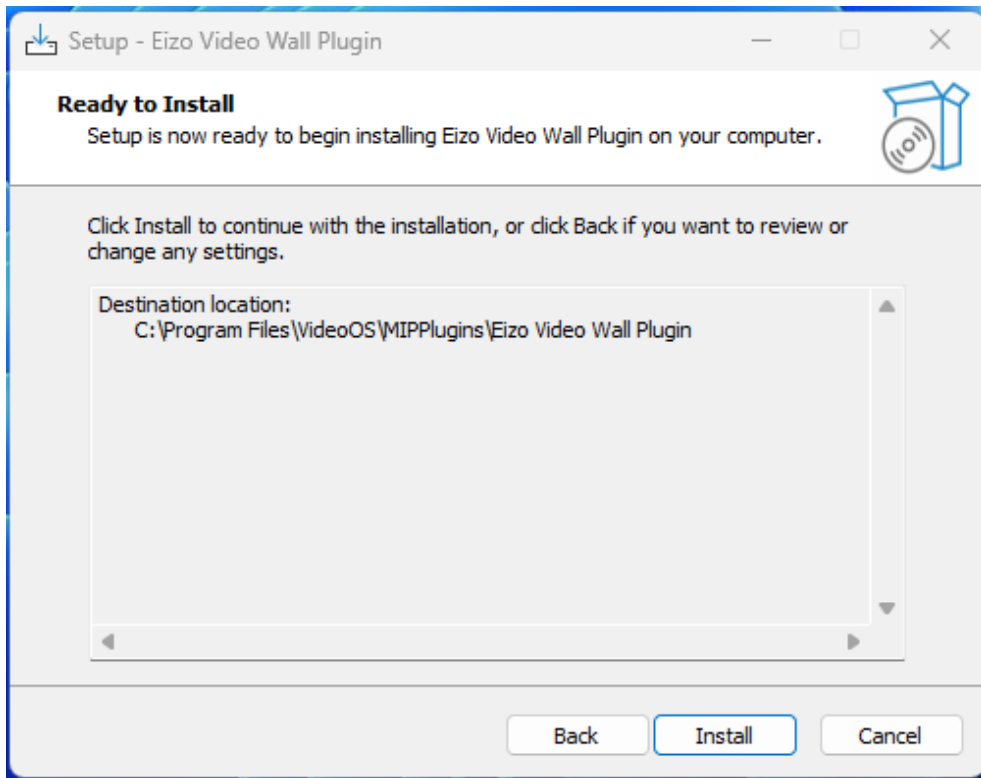
- エンドユーザー使用許諾契約に同意します。



- インストールするプラグインのパスを入力します。

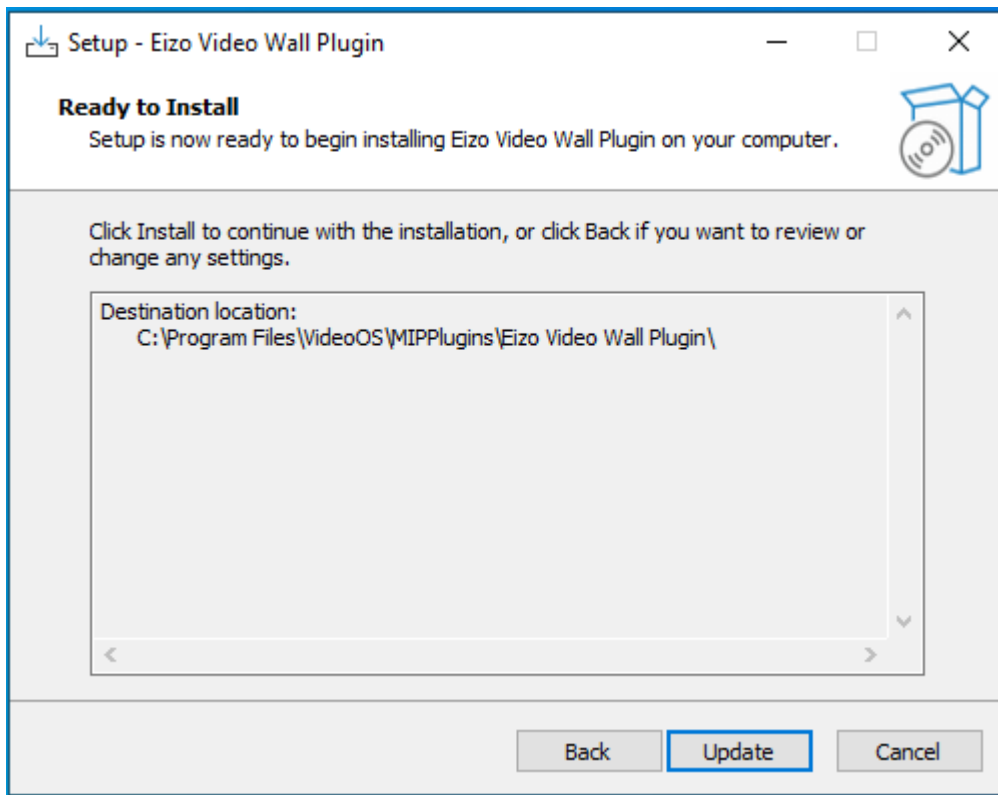


- [Install (インストール)] ボタンを押してインストールを完了します。



注：

- XProtect Event Server は、インストール後に再起動する必要があります。

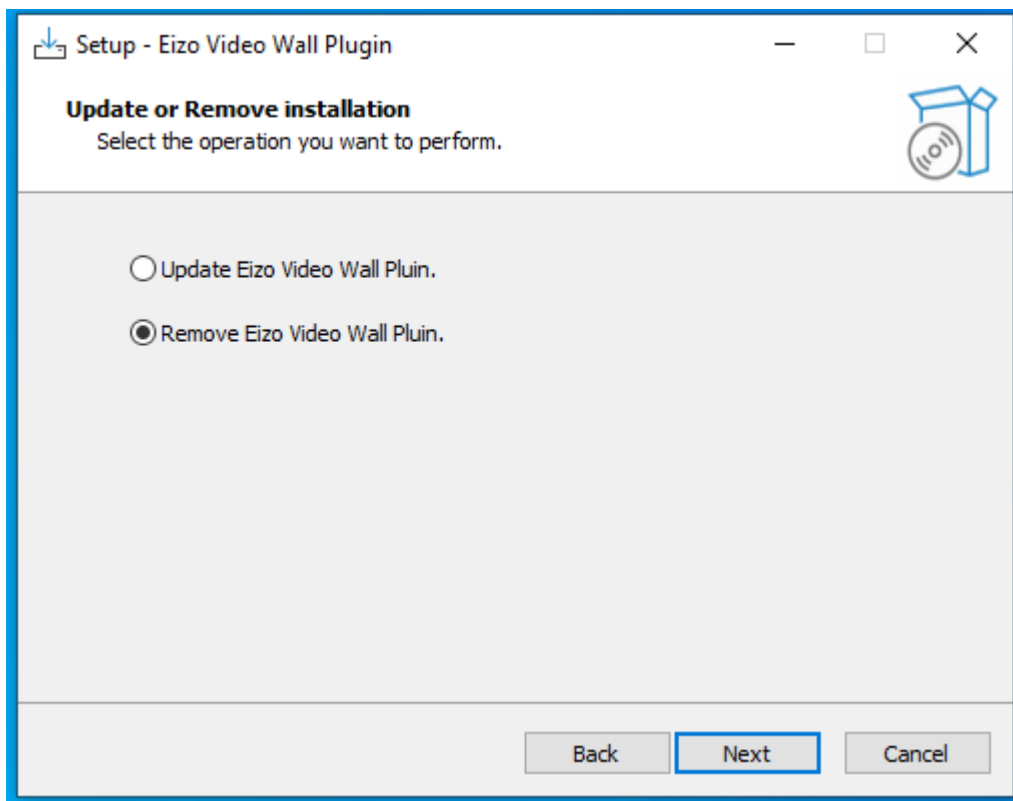


アンインストールするには

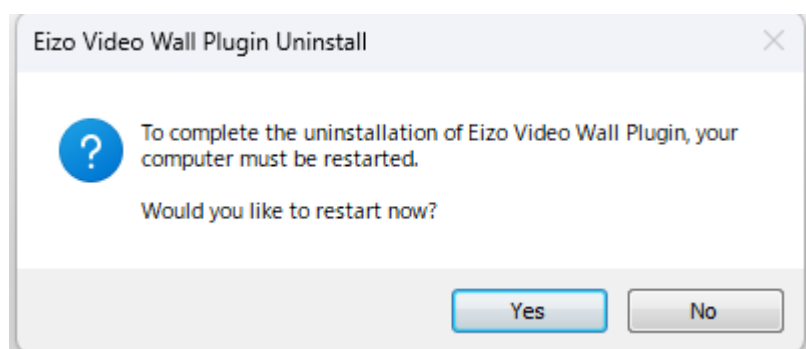
アンインストールするには、プラグインのインストール後にインストーラソフトウェアを実行し、[Remove (削除)] オプションを選択します。

注：

- アンインストールする前に、XProtect Management Client から EIZO ビデオウォールのエンティティをすべて削除してください。



削除が完了したら、プラグインのアンインストール手順を完了するためにコンピュータを再起動する必要があります。



注：

- コンピュータをシャットダウン（休止状態）して電源を入れるだけでは、アンインストールが不完全になり、特定のファイルが残る可能性があります。

XProtect Management Client

Management Client の概要

新しい [EIZO Video Wall] セクションが [サイトナビゲーション] に追加されています。

次のことを実行できます。

- EIZO IP モニター端末を XProtect ビデオウォールに登録する
- 複数の IP モニターをビデオウォールのレイアウト内に配置する
- IP モニターのレイアウト用にプリセットを作成する
- カメラを IP モニターに登録する

XProtect Smart Client

Smart Client の概要

EIZO Video Wall というコンテンツが、IP モニターの制御用に [システム概要] ペインに追加されます。

次のことを実行できます。

- IP モニター端末の表示画面 (レイアウト、カメラ) を Smart Client から変更する。
- IP モニターの現在の表示情報 (レイアウト、カメラ) をビデオウォールに表示する。
- IP モニターの状態を監視する。

ストリーミング

サーバー

ストリーミング用ゲートウェイサーバーとして **Milestone OPEN Network Bridge** が必要です。

ストリーミングプロトコル

- RTP over UDP
- RTP over RTSP

ビデオコーデック

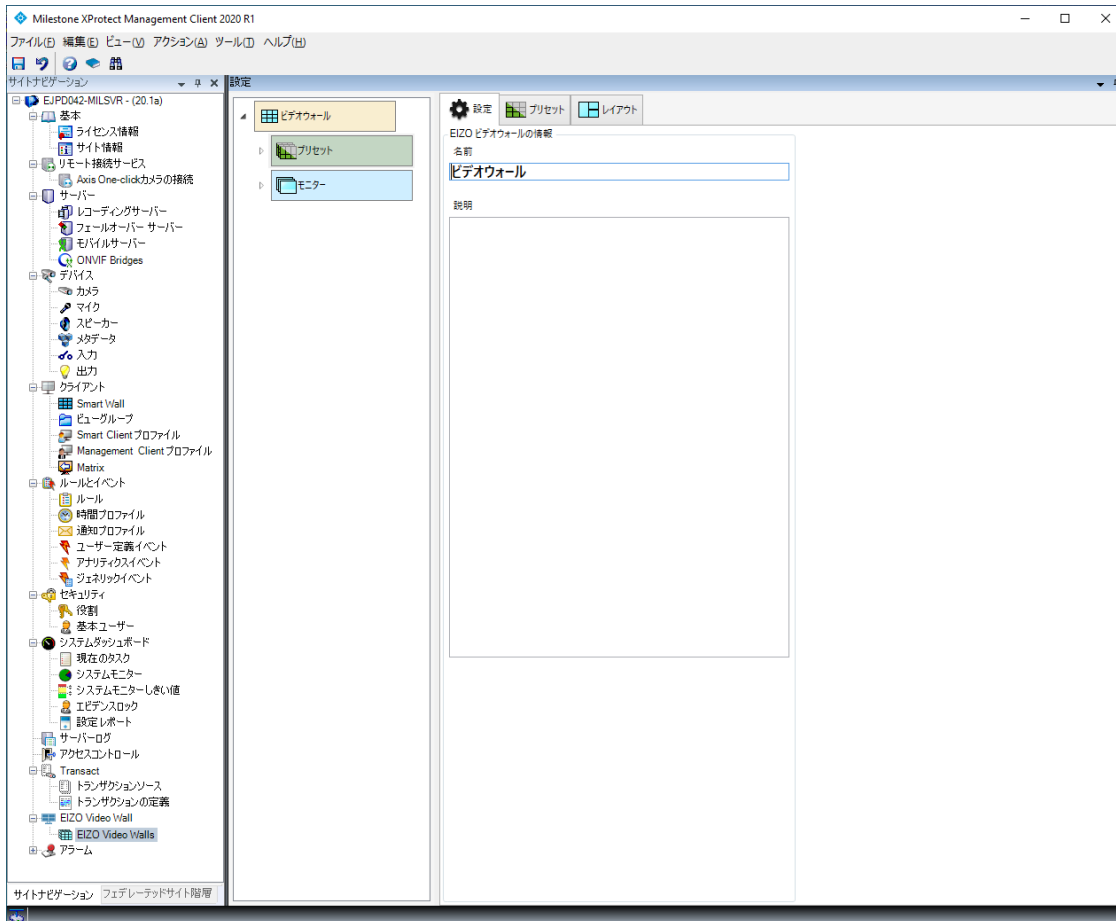
- H.264
- H.265

XProtect Management Client

概要

XProtect Management Client では XProtect VMS に EIZO ビデオウォールの複数のエンティティを作成し、構成することができます。

EIZO ビデオウォールの設定はすべて XProtect Management Client の [EIZO Video Wall] セクションで構成することができます。



前提条件

Milestone Open Network Bridge 経由でカメラのストリームを EIZO IP モニターに表示するには、次の設定が前提条件になります。

[EIZO Video Wall] タブが、XProtect Management Client --> [ツール] --> [オプション] に追加されている。

The screenshot shows a window titled 'オプション' (Options) with several tabs: 'アナリティクスイベント', 'カスタマーダッシュボード', 'アラームおよびイベント', 'ジェネリックイベント', and 'EIZO Video Wall'. The 'EIZO Video Wall' tab is active. Below the tabs is a section titled 'Options' containing a sub-section 'Open Network Bridge 設定'. This section has several input fields: 'IP アドレス' (192.168.0.123), 'ポート' (554), 'プロトコル' (directUri), '接続方式' (rtsp), 'ユーザー名' (ipmon), 'パスワード' (masked with dots), and 'Uri' (rtsp://192.168.0.123:554/live/). At the bottom of the window are buttons for 'ヘルプ', 'OK', and 'キャンセル'.

ストリーミング設定

設定	説明
IP アドレス	Milestone Open Network Bridge サーバーのアドレス
ポート	Open Network Bridge の RTSP ポート
プロトコル	デコーダに登録されているプロトコル
接続方式	ストリームのトランスポート方式 (over RTSP / over UDP)
ユーザー名	管理者権限の Open Network Bridge ユーザー認証情報
パスワード	上記のユーザーのパスワード
Uri	ストリームの URI ("rtsp://server address:rtsp port/live/")

設定手順

1) EIZO ビデオウォールの作成

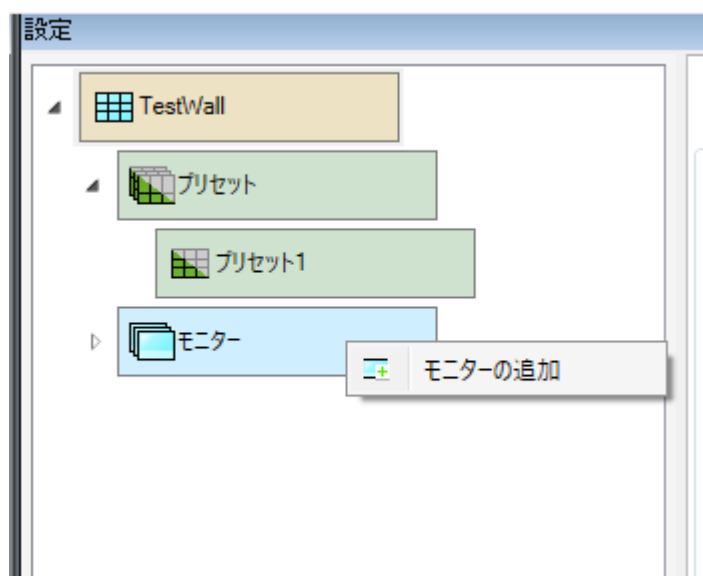
EIZO ビデオウォールは、XProtect 経由で EIZO の IP モニター端末をリモート制御するために使用するエンティティです。このエンティティには、登録した端末の管理に使用する複数の模擬テンプレートとプリセットを含めることができます。

[設定] ペインを右クリックして **[ビデオウォールの追加]** を選択し、EIZO ビデオウォールを作成します。作成された新しいビデオウォールには、設定可能な **[プリセット]** と **[モニター]** が用意されています。

2) モニターの登録

[モニター] エンティティは EIZO IP モニター端末の模擬テンプレートとして使用します。このテンプレートはカメラと画面のレイアウトを設定するために使用します。

新しいモニターは EIZO ビデオウォールの **[モニター]** エンティティを右クリックし、**[モニターの追加]** を選択して作成できます。



端末を登録するには次の情報が必要です。

モニター登録設定

フィールド	説明
名前	EIZO IP モニターの名前 (任意)
IP アドレス	EIZO IP モニターの IP アドレス
ユーザー名	EIZO IP モニターのログインに使用するユーザー名
パスワード	EIZO IP モニターのログインに使用するパスワード
ポート	HTTP または HTTPS 接続用のポート (端末に設定したポートに一致していること)
端末の状態監視	IP モニターの実際の画面の設定がビデオウォールの設定に一致しているかをすべての Smart Client でチェックできるようにします。
フルスクリーン	EIZO IP モニターをフルスクリーン表示します。
USB ロック	デコーダの USB 機器を無効にします (デコーダの再起動が必要です)。
Key ロック	デコーダの物理ボタンを無効にします。

IP モニターを追加した後、モニターの **[設定]** -> **[編集]** タブの下で、設定を変更することもできます。

登録の条件：

- 端末のバージョンが **5.5100 以上**であること。

注：

バージョン 6.0000 には、フルスクリーン、USB ロック、Key ロックの設定が使用できないという既知の問題があります。

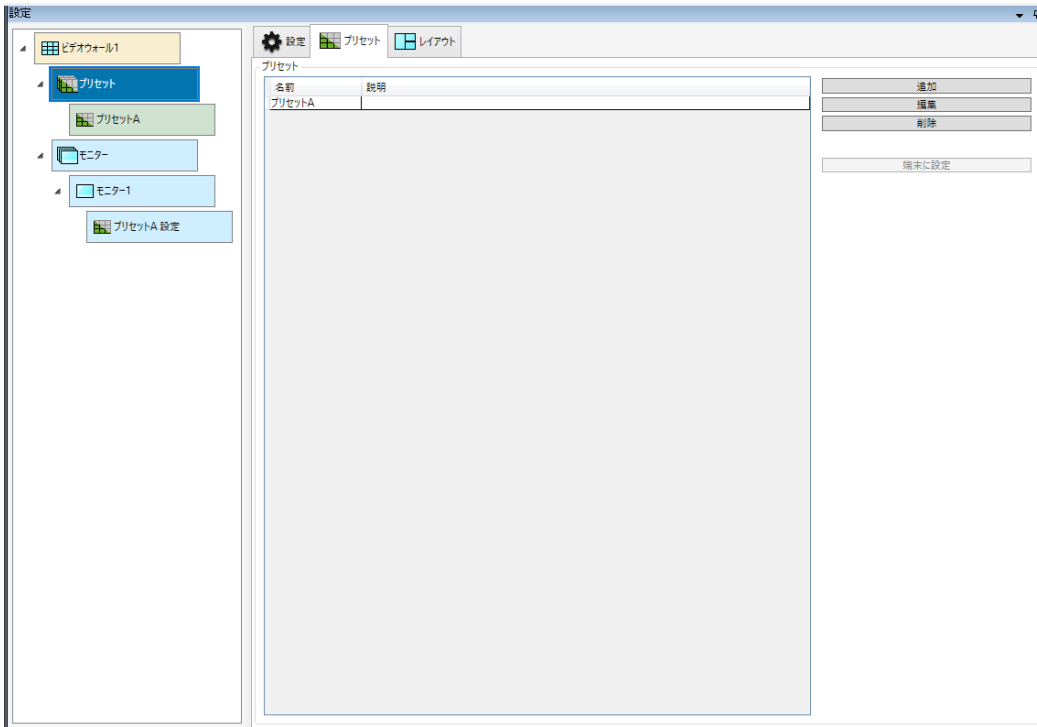
- 端末で**エンタープライズライセンス**が有効化されていること。
- 端末と HTTP で通信する場合、端末側の認証方式が Digest に設定されていること。

IP モニターは次の場合にビデオウォールに登録されません。

- 端末に接続できない場合 (例：IP アドレスやポート設定の不一致)
- ユーザー認証に失敗する場合

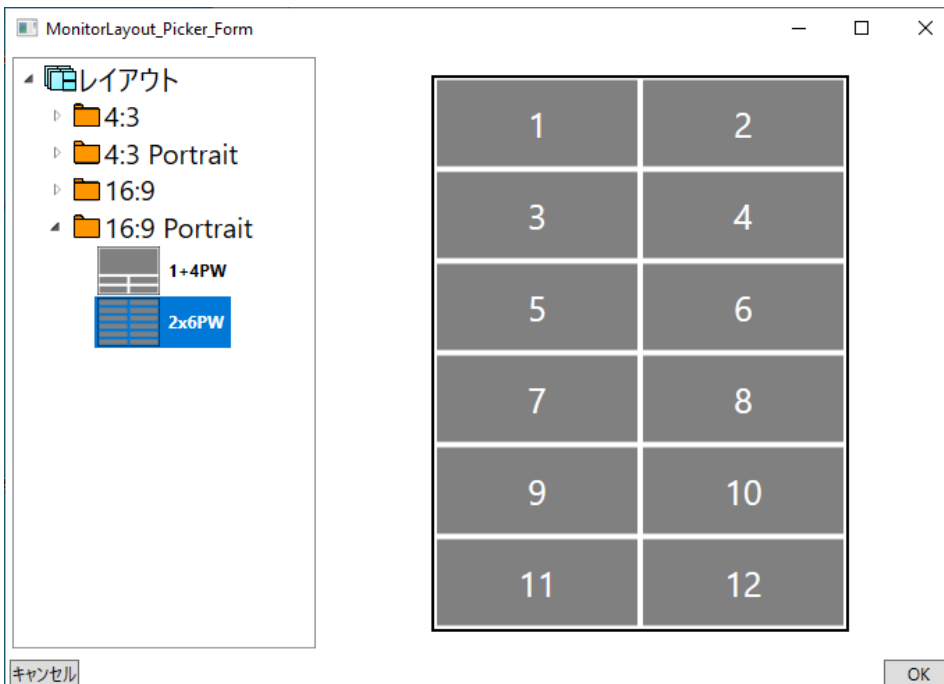
3) プリセットの追加

プリセットは IP モニター端末の画面レイアウトとカメラの表示位置の定義に使用します。
新しいプリセットは EIZO ビデオウォールの [プリセット] エンティティを右クリックし、[追加] ボタンを選択して作成できます。



4) プリセットの編集

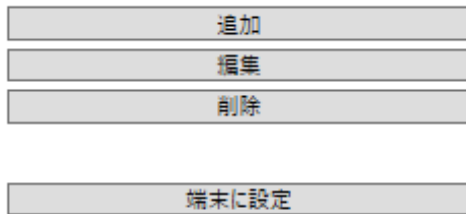
[モニター] エンティティの下にある [プリセット] タブに移動してドロップダウンからプリセットを選択し、[編集] をクリックして、リストからレイアウトを選択します。



注：レイアウト内のウィンドウ数は 32 以下とします。

5) プリセットの有効化

ビデオウォールの【プリセット】タブでプリセットを選択し、【端末に設定】ボタンをクリックして、そのプリセットのレイアウトとカメラの設定を、接続しているすべてのIPモニターのライブ画面に送信します。



備考

設定を XProtect VMS データベースに保存

設定の変更後は、必ず XProtect Management Client の左上にある **[保存]** ボタンで保存してください。



注：XProtect Management Client にて変更を加えた後は、起動中の Smart Client を再起動してください。

保存していない設定変更を元に戻す

[サイトナビゲーション] パネルの [EIZO Video Wall] を右クリックして **[更新]** を選択すると、プラグインの再ロードにより未保存の変更を取り消すことができます。



端末の接続ステータスのチェック

プリセットタブの各モニターテンプレートには右上隅にステータスのチェックボタンがあります。これをクリックすると端末への接続がチェックされて、テンプレートの上にあるモニターのステータスの色が更新されます。



色 ステータス

黒 通信に成功

赤 通信に失敗

黄色 無効なエディションまたは対象外のソフトウェアバージョンによる警告



プラグインのバージョンをチェック



プラグインのバージョンは、XProtect Management Client の [ヘルプ] --> [バージョン情報] を開いて表示できます。

EIZO Video Wall v1.x.x.x - EIZO Corporation

XProtect Smart Client

概要

Smart Client アプリケーションを使用すると、EIZO ビデオウォールのテンプレート (以降は**模擬テンプレート**と表記) を表示画面に配置できます。模擬テンプレートでは、カメラを登録し、レイアウトを構成し、端末の接続状態を監視して、IP モニターを制御できます。

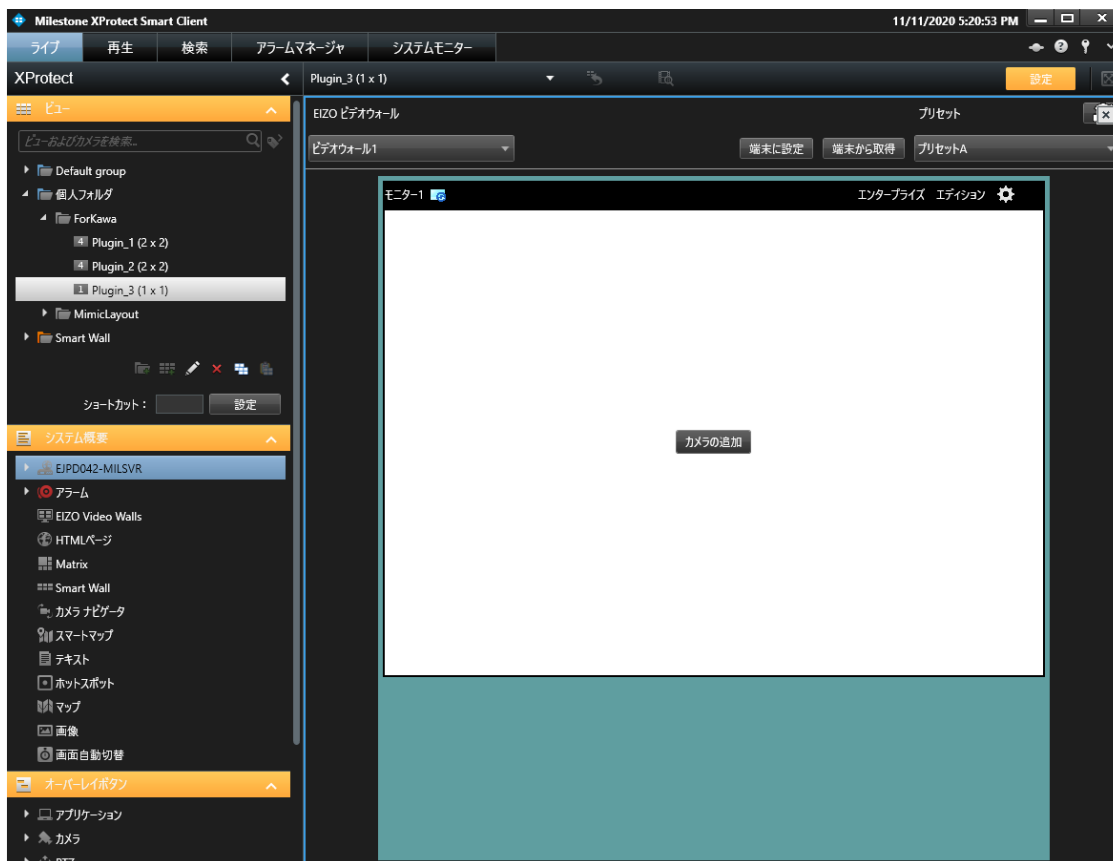
モニター-B 		エンタープライズ エディション 	
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加
カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加	カメラの追加

基本的な機能

表示画面に模擬テンプレートを登録

[ライブ] タブの [設定] ボタンを押して、[EIZO Video Walls] のエンティティを、[システム概要] ペインから表示画面上の未使用領域にドラッグ&ドロップします。

作成したら [設定] ボタンを再度押して設定を確定します。これで模擬テンプレートが表示画面に登録されます。



カメラの追加

Smart Client では、次の手順で模擬テンプレートにカメラを追加できます。

- カメラのリストからカメラをドラッグ&ドロップします。
- 模擬テンプレートの [カメラの追加] ボタンを押して、カメラを選択します。
- ビューペインからビューエンティティを模擬テンプレートにドラッグして、ビューエンティティの設定をコピーします。

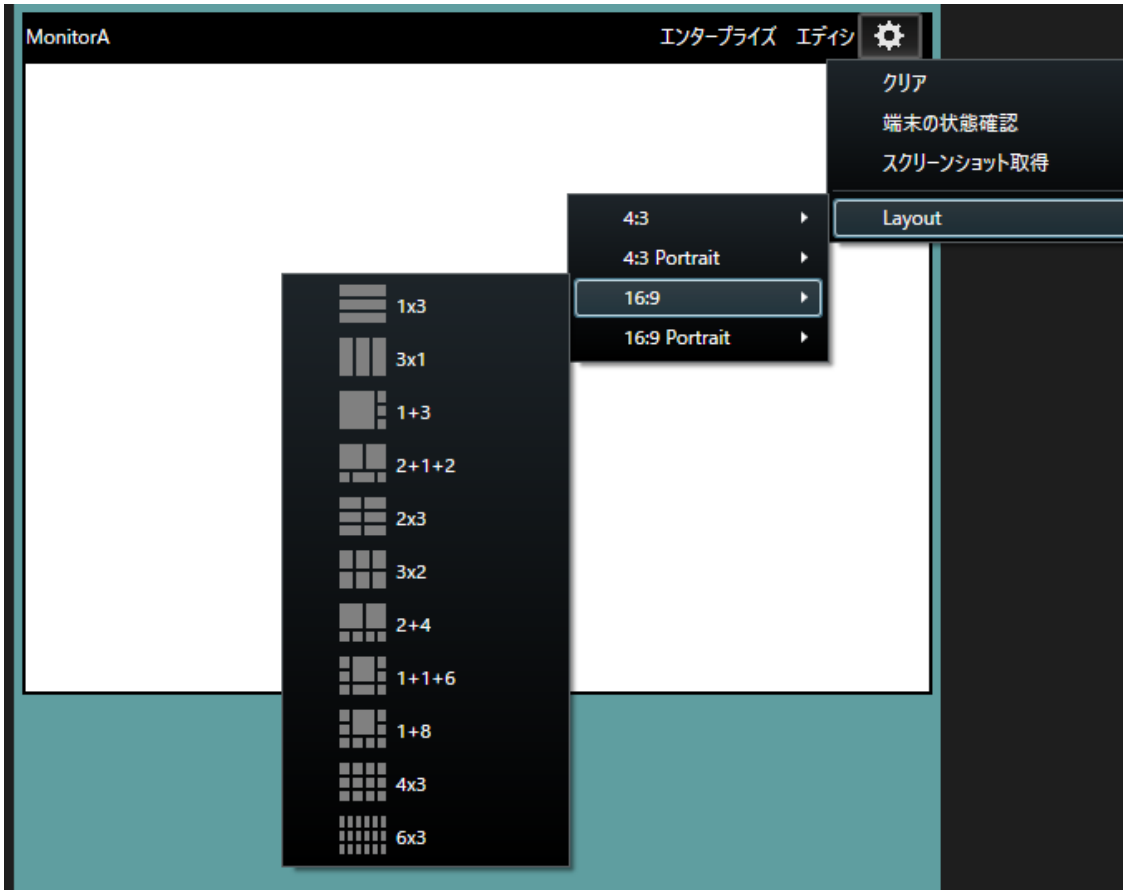
変更後、[端末に設定] ボタンを押して IP モニター端末の設定を更新します。

レイアウトの変更

モニターのギアアイコンを押して **[Layout (レイアウト)]** を選択し、サポートされているレイアウトのリストを開きます。

[クリア] ボタンを押すと、登録済のすべてのカメラが削除され、模擬テンプレートのレイアウトが 1x1 に更新されます。

変更後、**[端末に設定]** ボタンを押して IP モニター端末の設定を更新します。



プリセットの有効化

[プリセット] ドロップダウンメニューからプリセットを選択し、**[端末に設定]** ボタンを押して、登録しているすべての IP モニターをプリセットの設定に更新します。

プリセットを初期設定に復元

模擬テンプレート上でレイアウトやカメラを変更すると、ローカルの Smart Client で一時的にプリセットが更新されます。

プリセットを初期設定に復元するには、模擬テンプレート右上の **[復元]** アイコンを押します。



現在の IP モニター端末のレイアウトを取得

[端末から取得] ボタンを押して、現在の IP モニターの表示設定 (レイアウト、カメラ) を模擬テンプレートに表示します。

ビューエンティティのレイアウトを有効化

[ビュー] ペインから模擬テンプレートへビューエンティティをドラッグ&ドロップすると、レイアウトおよびカメラが更新され、表示が一致します。

変更後、[端末に設定] ボタンを押して IP モニター端末の設定を更新します。

注：

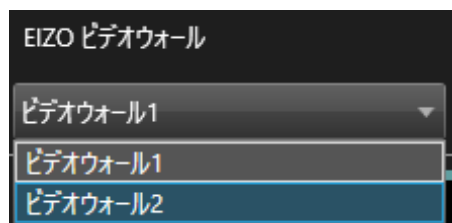
カメラ以外の例えばマップや Web ページなどは、模擬テンプレートにコピーできません。

表示から模擬テンプレートを削除

[設定] ボタンを押してセットアップモードにします。EIZO ビデオウォールのテンプレートの右上隅の X を左クリックして、表示から模擬テンプレートを削除します。

EIZO ビデオウォールの切り替え

EIZO ビデオウォールを複数作成した場合は、模擬テンプレートの左上隅のドロップダウンボックスを使って、ビデオウォールを切り替えられます。



高度な機能

端末の状態監視の有効化

端末の状態監視機能を使用すると、各 IP モニター端末の作動中の表示画面が模擬テンプレートの設定に一致しているかを定期的にチェックできます。

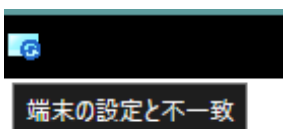
この機能を有効にするには、XProtect Management Client の [モニター] -> [設定] の下にある [端末の状態監視] チェックボックスに事前にチェックを入れます。

The screenshot shows the 'Monitor Settings' window in XProtect Management Client. It has two tabs: '設定' (Settings) and 'プリセット' (Presets). Under 'モニター情報' (Monitor Information), the '名前' (Name) field contains 'MonitorA'. The 'プロトコル' (Protocol) is set to 'http' and the 'IPアドレス' (IP Address) is '192.168.0.150'. The 'ユーザー名' (Username) is 'admin' and the 'パスワード' (Password) is masked with dots. The 'ポート' (Port) is '80'. There are four checkboxes: '端末の状態監視' (Terminal Status Monitoring) is checked, 'フルスクリーン' (Full Screen) is unchecked, 'USBロック' (USB Lock) is unchecked, and 'Keyロック' (Key Lock) is unchecked. An 'インフォメーション' (Information) button is next to the Key Lock checkbox. Under '寸法' (Dimensions), 'サイズ' (Size) is '20' inches and 'アスペクト比' (Aspect Ratio) is '4:3'.

XProtect Management Client で**端末の状態監視**を有効化したら、XProtect Smart Client のモニター上のギアアイコンをクリックして、**[端末の状態監視]** チェックボックスを表示します。**[端末の状態監視]** をクリックすると、Smart Client がその IP モニター端末を定期的に監視します。



IP モニター端末のレイアウトと登録したカメラが、模擬テンプレートのレイアウトと登録したカメラに一致しない場合、不一致を示すアイコンが表示されます。



端末のステータスをチェック

登録したモニターの現在の状態を手動でチェックするには、ギアアイコンをクリックして、[端末の状態確認] をクリックします。端末との接続が確立されていること、バージョンが 5.5100 以上であること、エンタープライズエディションが有効であることを確認します。

接続が確立されていない場合は、モニター上部の境界線が赤に変わります。

バージョンやエディションが不適合な場合は、モニター上部の境界線が黄色に変わります。

これらの問題を修正して、[端末の状態確認] を押すと、境界線が黒に戻ります。

スクリーンショットをとる

[スクリーンショット取得] オプションを使用して、デコーダからスクリーンショットを取得できます。[スクリーンショット取得] を押すと、モニターに現在表示されている画面のスクリーンショットが表示されます。

注：

- 一度に表示できるスクリーンショットは 1 つだけです。
- スクリーンショットが閉じられるまで、Smart Client をクリックしたりフォーカスしたりすることはできません。

マップ

[マップ] エンティティからカメラを登録するには、カメラを模擬テンプレートのモニターにドラッグ&ドロップします。

変更後、[端末に設定] ボタンを押して IP モニター端末の設定を更新します。

イベント機能

XProtect のイベント機能に関連して次のアクションを行うことができます。

EIZO イベントアクション

アクションタイプ 定義

Preset Change 模擬テンプレートを、指定したプリセットに変更。

Monitor 1x1 模擬テンプレートを、任意のカメラと 1x1 レイアウトに変更。

アラームマネジメント

EIZO アナリティクスイベントのアラーム定義機能を使用して、XProtect でアラームを生成できます。



!	日時	優先レベル	ステータスレベル	ステータスの名前	メッセージ	ソース	所有者
	14:12:47 2023/08/09	1	1	新規	EIZO Preset Analytics	TestWall - プリセット1	
	14:12:38 2023/08/09	1	1	新規	EIZO Preset Analytics	TestWall - プリセット1	

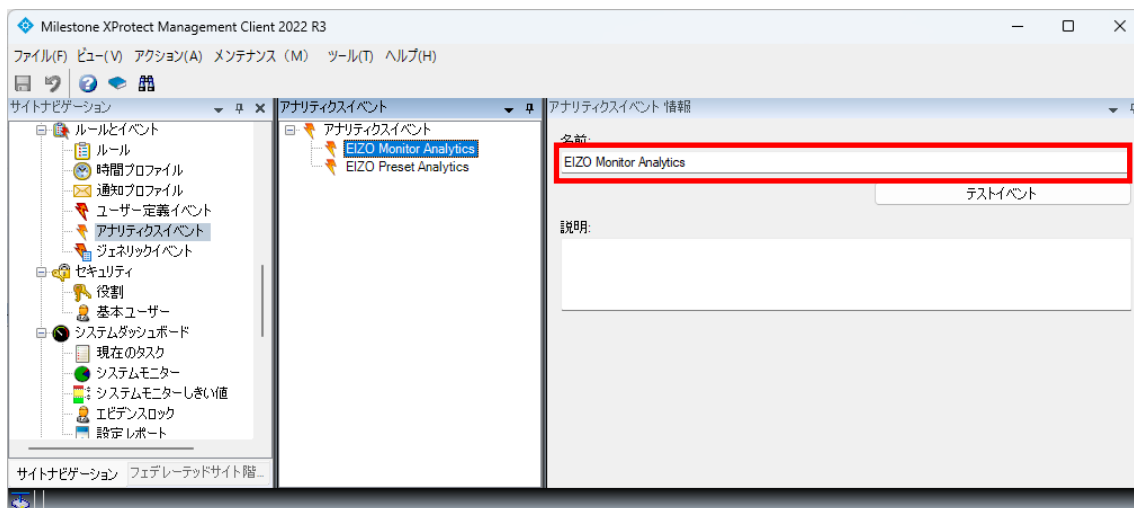
EIZO アクションが発生すると、そのアクションのアナリティクスイベントも作動します。ユーザーは、イベントのメッセージとソースに一致するアラーム定義を作成することで、アラームを生成できます。

注：

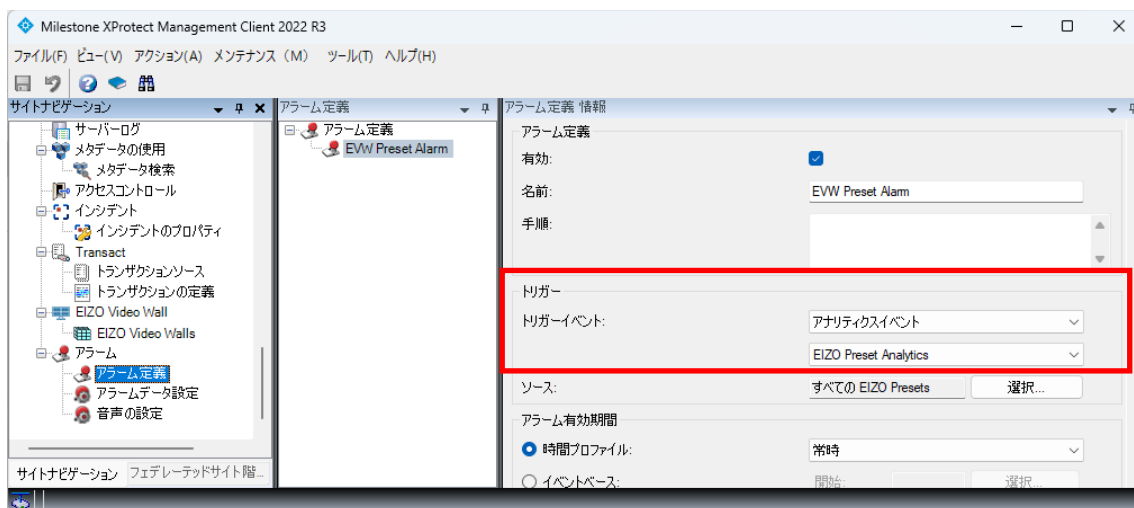
- アナリティクスイベントは、イベントアクションが成功した場合にのみ生成されます。アクションが失敗した場合（デコーダへの接続が切れるなど）、アナリティクスイベントは生成されません。

アナリティクスイベントとアラーム定義のセットアップ

- まず、EIZO アクションを含むイベントルールが作成され、有効になっていることを確認します。
- 対応するアクションのアナリティクスイベントを定義します。
 - Preset Change** アクションの場合、名前は「EIZO Preset Analytics」と一致する必要があります。
 - Monitor 1x1** アクションの場合、名前は「EIZO Monitor Analytics」と一致する必要があります。



- トリガーイベントを使用してアラーム定義を作成します。
 - トリガーイベントは、上で定義したアナリティクスイベントと一致する必要があります。

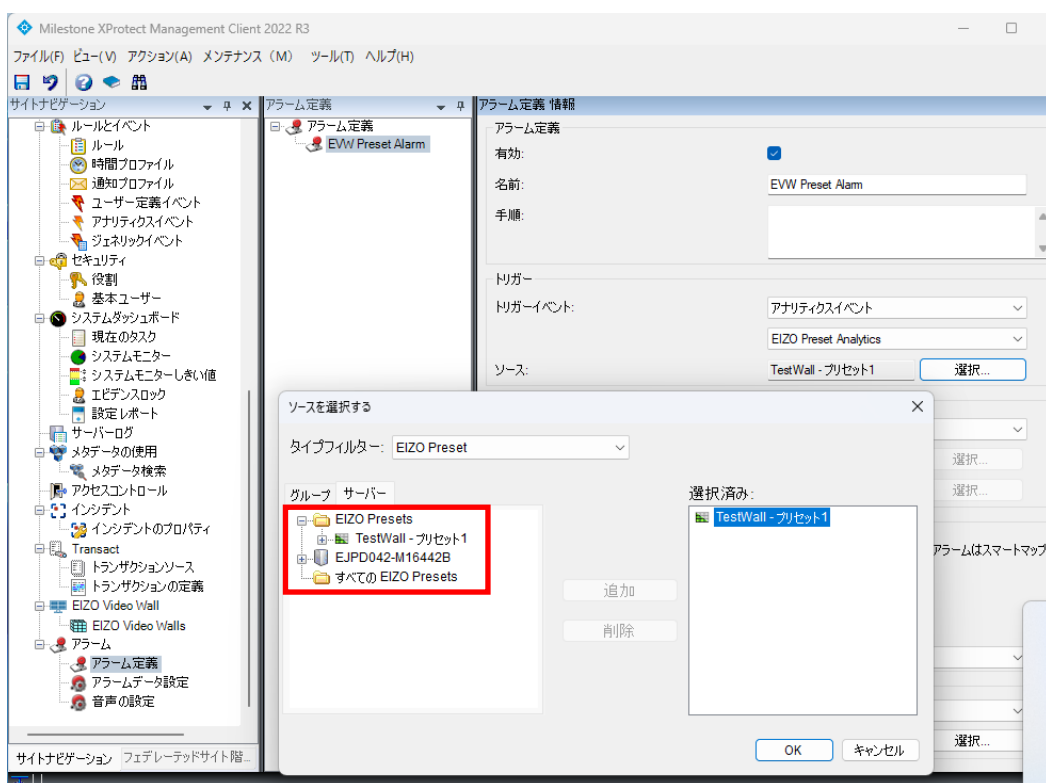


- アラーム定義ソースを設定します。

登録されているすべての EIZO モニターおよびプリセットには、XProtect によって内部的に管理される対応するソース要素があります。

- プリセットは **EIZO Presets** の下にリストされています。
- モニターは **EIZO Monitors** の下にリストされています。
- これらの要素をアラーム定義のソースとして使用します。

- i. プリセット変更アクションの場合、ソースは EIZO Preset である必要があります。
- ii. Monitor 1x1 アクションの場合、ソースは EIZO Monitor である必要があります。



注：

- アラーム定義ソースとして「すべての EIZO Monitors」または「すべての EIZO Presets」を選択することもできます。

備考

プラグインのバージョンをチェック

プラグインのバージョンは、XProtect Smart Client の [ヘルプ] --> [バージョン情報] を開いて表示できます。

EIZO Video Wall v1.x.x.x - EIZO Corporation

トラブルシューティングガイド

前提条件

EIZO Video Wall EIZO Video Wall Plugin を効率的にトラブルシューティングするには、以下が必要です。

- Milestone XProtect システムバージョン 2021 R1 以降
- 対応する XProtect バージョンの Open Network Bridge
- EIZO DuraVision 製品バージョン 5.5000 以降
- EIZO Video Wall Plugin バージョン 1.0.1.1 以降
- システムにインストールされているすべての EIZO Video Wall Plugin が同じバージョンであること

ストリーミングの問題

次のエラーコードが IP モニターに表示されている場合、それらのコードは複数のストリーミング関連の問題を示しています。

エラーコード	説明
E01-00	XProtect が原因でカメラが接続できない
E02-02	カメラストリームで RTSP サーバーを認証できない
E02-03	接続エラーまたは設定エラーでカメラと通信できない
E02-04	RTSP サーバーと通信できない
E04-00	カメラの解像度がサポートされていない

カメラストリームを表示できない

エラーE01-00の原因

このタイプのエラーは、カメラへの接続に障害があることを示します。最も一般的な原因は次のとおりです。

- XProtect システムにカメラが存在していない
- Open Network Bridge に指定した ONVIF Client ユーザーに適切な権限がない。
- サポートされていないストリーミングコーデックにカメラが設定されている。

エラーE02-02の原因

このタイプのエラーは RTSP ストリーム認証に障害があることを示します。最も一般的な原因は次のとおりです。

- Open Network Bridge のユーザー情報が EIZO Video Wall Plugin のユーザー情報と一致していない。
- Open Network Bridge 設定内のユーザーが XProtect の Basic User (基本ユーザー) として存在しない。

エラーE02-03 の原因

このタイプのエラーは接続または設定に問題があり、カメラと通信できないことを示します。最も一般的な原因は次のとおりです。

- XProtect システムとカメラとの接続が失われている。
- IP モニターがサポートしていない映像コーデックを XProtect システム側に設定している。

エラーE02-04 の原因

このエラーは、Open Network Bridge サーバーへの接続に問題があることを示します。最も一般的な原因は次のとおりです。

- Open Network Bridge サーバーが正しくインストールされていない。
- Open Network Bridge サービスが停止している (手動で停止したか、またはクラッシュしている)。
- Open Network Bridge サーバーがインストールされているコンピュータに対する IP モニターからのネットワーク接続がない。

トラブルシューティングの手順

Open Network Bridge のトラブルシューティング

まず、問題が RTSP サーバー自体なのか、または EIZO Video Wall Plugin なのかを見極めることが重要です。これを確認するには、Open Network Bridge が ONVIF Device Manager で使用できることと、そのネットワークストリームが表示できることを確かめます。ONVIF Device Manager からネットワークストリームを表示できない場合は、このガイドの手順を実行する前に解決すべき問題が Open Network Bridge にあります。

詳細については、次を参照してください。

<https://doc.milestonesys.com/2020r1/en->

[US/standard_features/sf_onvifbridge/onvif_usingonvifclientstovi.htm?Highlight=onvif%20device%20manager](https://doc.milestonesys.com/2020r1/en-US/standard_features/sf_onvifbridge/onvif_usingonvifclientstovi.htm?Highlight=onvif%20device%20manager)

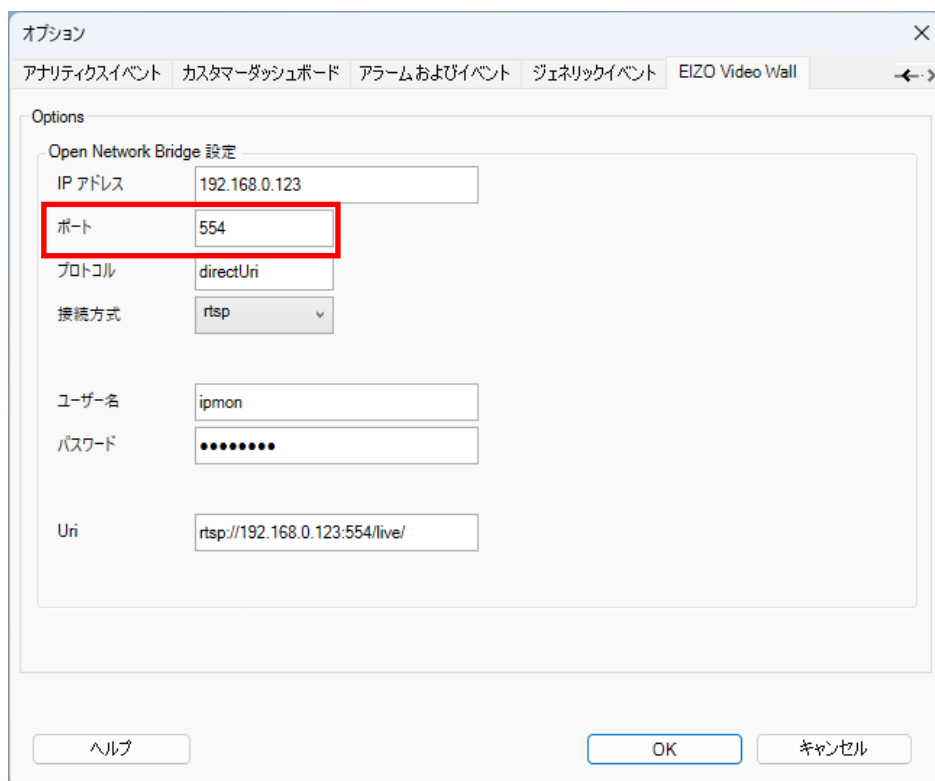
1. **[Management Client]** を開き、[サイトナビゲーション] の [サーバー] ペインで Open Network Bridge が正しくインストールされていることを確認します。
2. 1 台以上の Open Network Bridge サーバーが存在し、サービスが実行されていることを確認します。これを行うには、Windows ツールバーのサービストレイを確認します。



3. [IP アドレス] フィールドと [ポート] フィールド：

[Management Client] -> [ツール] -> [オプション] -> [EIZO ビデオウォール]

Open Network Bridge サーバーの IP アドレスおよび Open Network Bridge 設定の [RTSP ポート] と一致していることを確認します。



オプション

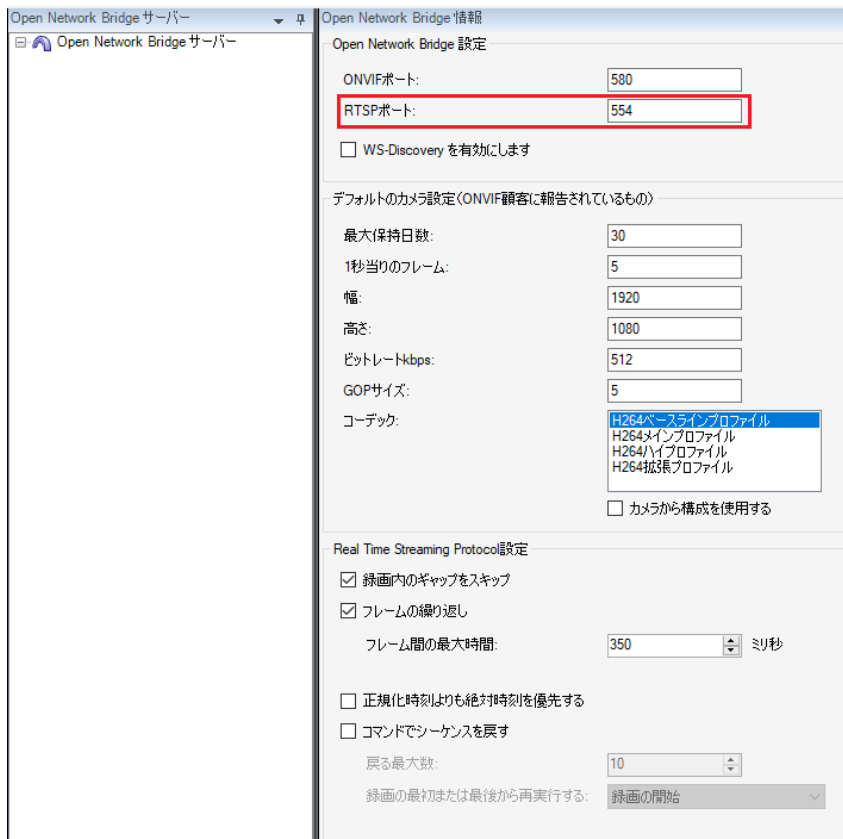
アナリティクスイベント カスタマーダッシュボード アラームおよびイベント ジェネリックイベント EIZO Video Wall

Options

Open Network Bridge 設定

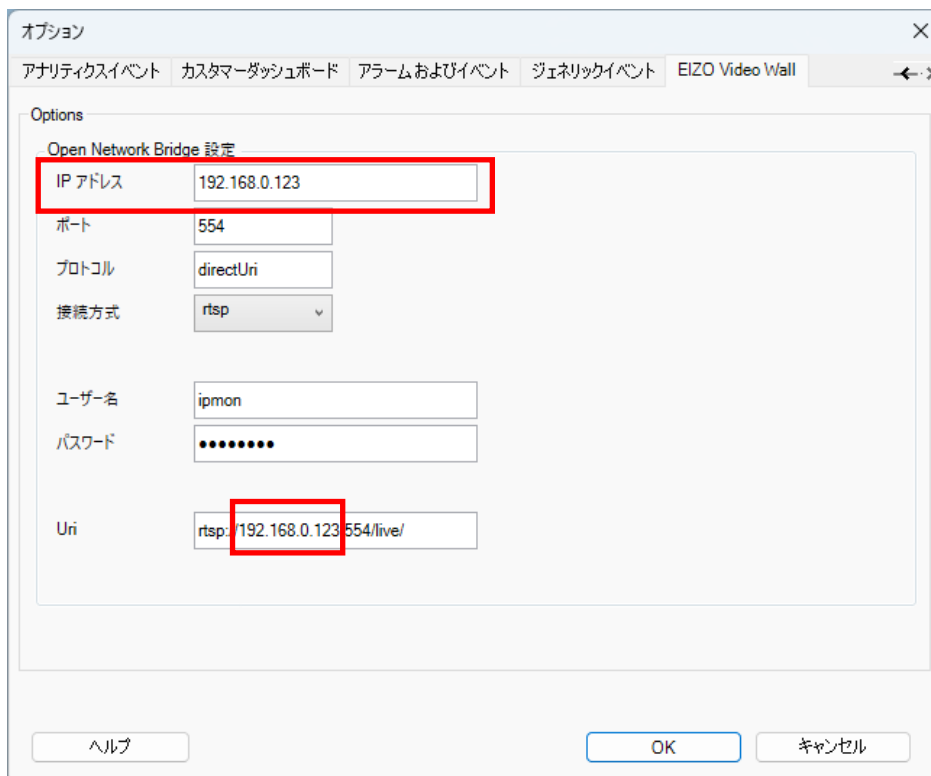
IP アドレス	192.168.0.123
ポート	554
プロトコル	directUri
接続方式	rtsp
ユーザー名	ipmon
パスワード	●●●●●●
Uri	rtsp://192.168.0.123:554/live/

ヘルプ OK キャンセル



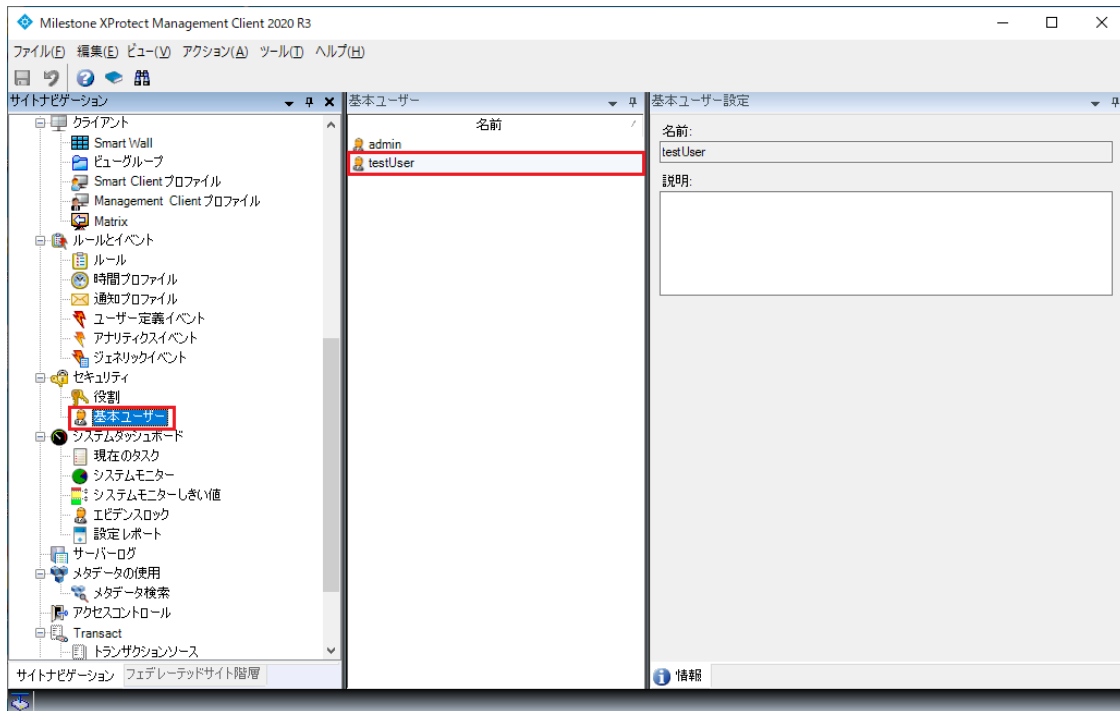
4. 最後に、Open Network Bridge サーバーの正しいアドレスがプラグイン設定の IP アドレスに使用されていること、およびその IP アドレスが Uri アドレスと一致していることを確認します。

Uri はストリーミングに必要であり、IP アドレスはカメラを IP モニターに登録するのに必要です。



ユーザー設定のトラブルシューティング

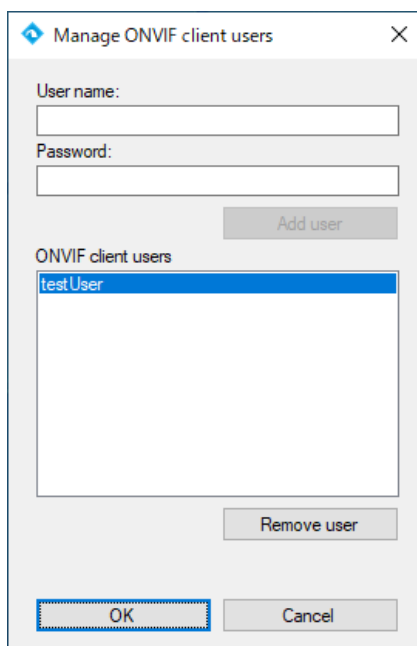
1. EIZO Video Wall Plugin に必要なユーザーが XProtect 管理者権限を持つ XProtect の [Basic User (基本ユーザー)] として存在することを確認します。



2. Windows タスクバーの [Milestone Open Network Bridge] サービスを右クリックし、[Manage ONVIF client users (ONVIF クライアントユーザーの管理)] を選択して、必要なユーザーが Open Network Bridge に登録されていることを確認します。

注：

以前のバージョンの Open Network Bridge にユーザーを追加する場合、Open Network Bridge プラグインはユーザー名とパスワードについて、有効な XProtect ユーザーと一致しているかどうかを確認しないことがあるため、ユーザーの認証情報を事前に確認しておくことが重要です。



3. Open Network Bridge 設定のユーザー情報が、次の手順で表示されるユーザー名とパスワードと一致していることを確認します

[Management Client] -> [ツール] -> [オプション] -> [EIZO ビデオウォール]

The screenshot shows a window titled 'オプション' (Options) with a tab for 'EIZO Video Wall'. Under the 'Options' section, there is a sub-section 'Open Network Bridge 設定'. The fields are as follows:

IP アドレス	192.168.0.123
ポート	554
プロトコル	directUri
接続方式	rtsp
ユーザー名	ipmon
パスワード	●●●●●●
Uri	rtsp://192.168.0.123:554/live/

Buttons at the bottom: ヘルプ, OK, キャンセル.

4. Open Network Bridge の最新のユーザー名およびパスワードを Smart Client に読み込ませるために、起動中の Smart Client の再起動または、Smart Client に表示される模擬テンプレート右上の [復元] アイコンを押します。

カメラストリーミング設定のトラブルシューティング

1. **[Management Client]** を開き、[サイトナビゲーション] セクションの [サーバー] の下にある [Recording Server (レコーディングサーバー)] をクリックします。
2. エラーを表示しているカメラがレコーディングサーバーに登録されており、XProtect システムに接続されていることを確認します
3. Milestone に接続の問題が表示されている場合は、ネットワークケーブルを物理的に確認するか、または単純な ping コマンドを使用して、カメラへの接続を確認します。接続の問題を解決するには、エラーコードを解決する必要があります。
4. Xprotect システムからカメラへの接続がある場合は、カメラのコーデックが H.264 に設定されていることを確認します。設定を確認するには、次のように選択します。

[Devices (端末)] -> [カメラ] -> [Camera Group (カメラグループ)] -> [カメラ] -> [設定]

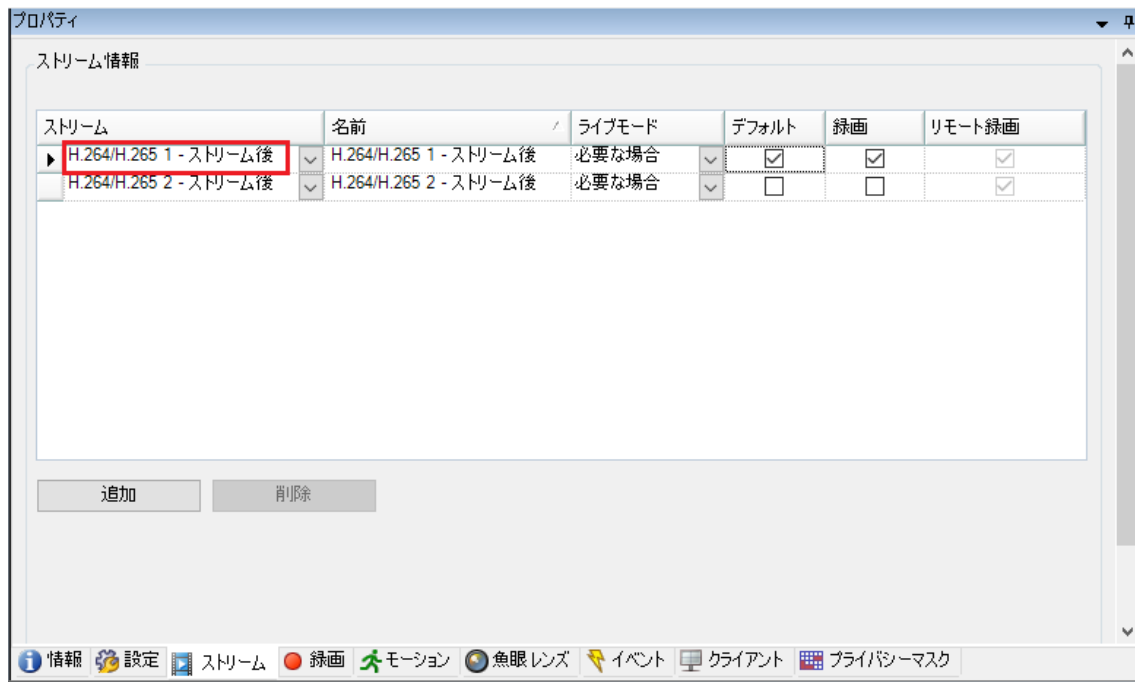
The screenshot shows the 'Properties' window for a Panasonic camera. The 'Codecs' section is expanded to show 'H.264/H.265 1 - Stream' settings. The 'Codec' is set to 'H.264'. Other settings include 1 frame per second, 1920x1080 resolution, and 512 kbit/s minimum bitrate.

Property	Value
1秒当たりのJPEGフレーム	1
Black and white dwell time	10s
Black and white level	ハイ
Wide Dynamic Range	有効
Wide Dynamic Range Level	28
画像取り込みモード	2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)
回転	0
輝度	64
白黒モード	オフ
H.264/H.265 1 - ストリーム後	
1秒当たりのフレーム	20
1フレーム間隔 (秒)	1
キーフレーム モード間の最大フレーム数	デフォルト(ドライバーにより決定)
コーデック	H.264
ストリーミングモード	RTP/UDP
マルチキャスト TTL	16
マルチキャスト アドレス	239.192.0.20
マルチキャスト ポート	37004
解像度	1920x1080
最小ビットレート (kbit/秒)	512
最大ビットレート (Kビット/秒)	3072
制御モード	不レムレート
H.264/H.265 2 - ストリーム後	
1秒当たりのフレーム	20
1フレーム間隔 (秒)	1
キーフレーム モード間の最大フレーム数	デフォルト(ドライバーにより決定)
コーデック	H.264
ストリーミングモード	RTP/UDP
マルチキャスト TTL	16
マルチキャスト アドレス	239.192.0.21
マルチキャスト ポート	37004
解像度	640x360
最小ビットレート (kbit/秒)	512
最大ビットレート (Kビット/秒)	1536
制御モード	不レムレート

At the bottom of the window, there is a toolbar with icons for: 情報 (Info), 設定 (Settings), ストリーム (Stream), 録画 (Recording), モーション (Motion), 魚眼レンズ (Fisheye Lens), イベント (Event), クライアント (Client), and プライバシー (Privacy).

5. H.264 ストリームが選択されていることを確認します。これを確認するには、次のように選択します。

[Devices (端末)] -> [カメラ] -> [Camera Group (カメラグループ)] -> [カメラ] -> [ストリーム]



注：

特定のカメラについては、Web インターフェイスでコーデックの設定を追加で行う場合があります。また、リモートカメラのコーデック設定が H.264 であることを確認することも推奨します。

オープンソースソフトウェアライセンス

Json.NET 12.0.3

SPDX identifier
MIT

License text
MIT License

Copyright (c) _____

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

商標

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge、.NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ONVIF は ONVIF Inc.の商標です。

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor Pro は EIZO 株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

